

2019 年度(平成31年度)学校評価自己評価表

大成館中学校区	校番 30	福山市立東村小学校
最終更新日	2019年(平成31年)4月10日	

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶子どもが進んで授業をつくるための教職員研修を充実させてほしい。 ▶関係機関と連携し、教職員が信頼される学校をつくってほしい。 ▶保護者、地域と連携し、健やかな子どもの育成を実現してほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶基礎学力の定着「表現力」「書く力」に課題がある。 ▶体力面の課題が改善しつつある。 ▶あいさつや無言掃除は、小中一貫した取組の成果が見られる。 ▶地域との交流により、郷土への愛着心が高まっている。 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>相手意識をもって、自分の言葉で表現する力 ～コミュニケーション能力と思いやり～</p>
		<p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 基礎学力を身につけ、自ら学び続ける子 (2) 運動・食習慣を身につけ、活力のある生活ができる子 (3) 規範意識を身につけ、思いやりのある言動ができる子
		<p>中学校区として統一した取組等</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 学力向上…自ら考え学ぶ児童生徒の育成、家庭学習の定着 (2) 体力向上…各校独自課題の克服、食育の推進 (3) 連携教育…規律、小中歌声交流会、各種学校行事の交流、ふるさと学習の推進

III 自校

<p>ミッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶確かな学力を身につけ、心豊かな児童が育つ学校 ▶地域に根ざし、児童・保護者・地域がともにつくる特色ある学校 	<p>学校教育目標</p> <p>心豊かに自立・貢献・感謝する児童の育成 ～主体的に学び、地域を愛する子どもの育成～</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>思考力・判断力・表現力</p> <p>主体性・積極性・共感力</p>								
<p>現状</p> <p><児童生徒></p> <p>○子どもたちは地域に愛着と感謝の気持ちを持ち、地域に見守られて生活している。生活規律や学習規律は概ね整い、学習にも意欲的である。</p> <p>●自分の考えを論理的に説明したり、相手の考えを理解した上で自分の意見を述べたりすることに課題がある。</p> <p><授業></p> <p>○学習リーダーを中心に主体的に学ぶ姿が見られ、ICT機器を日常的に活用した協働的な問題解決学習が展開されつつある。</p> <p>●子ども同士が考えや意見をつないで思考や表現を広げたり深めたりすることは十分ではない。</p>	<p>めざす子ども像</p> <table border="1"> <tr> <td>低</td> <td> <p>《話す》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものや出来事や体験を、順序を考えながら話すことができる。 ・自分の思いや考えを、理由とともにはっきり大きな声で話すことができる。 </td> <td> <p>《話す》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを出し合い、お互いの考えを明らかにしようとしている。 </td> </tr> <tr> <td>中</td> <td> <p>《話す・聞く》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたこと、見たこと、聞いたことの体験を詳しく話すことができる。 ・相手の考えを受け入れて、自分の思いや考えを話すことができる。 </td> <td> <p>《話す・聞く》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換をして、相手の考えと自分の考えを比較検討しようとしている。 </td> </tr> <tr> <td>高</td> <td> <p>《話し合う》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見出し、他者と協働しながら考えを伝え合い、解決することができる。 ・思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造することができる。 </td> <td> <p>《話し合う》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の伝えたいことを論理的に話したり、相手の考えを理解し受け入れたらして、共通理解を深めようとしている。 </td> </tr> </table>	低	<p>《話す》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものや出来事や体験を、順序を考えながら話すことができる。 ・自分の思いや考えを、理由とともにはっきり大きな声で話すことができる。 	<p>《話す》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを出し合い、お互いの考えを明らかにしようとしている。 	中	<p>《話す・聞く》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたこと、見たこと、聞いたことの体験を詳しく話すことができる。 ・相手の考えを受け入れて、自分の思いや考えを話すことができる。 	<p>《話す・聞く》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換をして、相手の考えと自分の考えを比較検討しようとしている。 	高	<p>《話し合う》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見出し、他者と協働しながら考えを伝え合い、解決することができる。 ・思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造することができる。 	<p>《話し合う》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の伝えたいことを論理的に話したり、相手の考えを理解し受け入れたらして、共通理解を深めようとしている。
低	<p>《話す》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものや出来事や体験を、順序を考えながら話すことができる。 ・自分の思いや考えを、理由とともにはっきり大きな声で話すことができる。 	<p>《話す》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを出し合い、お互いの考えを明らかにしようとしている。 								
中	<p>《話す・聞く》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたこと、見たこと、聞いたことの体験を詳しく話すことができる。 ・相手の考えを受け入れて、自分の思いや考えを話すことができる。 	<p>《話す・聞く》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換をして、相手の考えと自分の考えを比較検討しようとしている。 								
高	<p>《話し合う》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見出し、他者と協働しながら考えを伝え合い、解決することができる。 ・思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造することができる。 	<p>《話し合う》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の伝えたいことを論理的に話したり、相手の考えを理解し受け入れたらして、共通理解を深めようとしている。 								
<p>研究</p> <table border="1"> <tr> <td>教科等</td> <td>算数科, 体育科</td> </tr> <tr> <td>主題・内容等</td> <td>自ら考え学ぶ児童の育成 ～ICT機器を活用した協働的な学びを通して～</td> </tr> </table>	教科等	算数科, 体育科	主題・内容等	自ら考え学ぶ児童の育成 ～ICT機器を活用した協働的な学びを通して～						
教科等	算数科, 体育科									
主題・内容等	自ら考え学ぶ児童の育成 ～ICT機器を活用した協働的な学びを通して～									
めざす授業の姿	子ども同士が考えや意見をつなげ、主体的・協働的に問題解決に取り組む授業									

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立東村小学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	力 _セ 達 _成 評 _価	改善方策	□指標に係る取組状況	力 _セ 達 _成 評 _価	総合評価	改善方策
3	「知識・技能」を習得させ、「思考力・判断力・表現力」を育成する。	★		①国語、算数において、基礎・基本の学力を定着させる。	▶単元の終盤に、身につけた知識・技能を組み合わせ、解決する問題(単元課題)に取り組ませる。	▶国語と算数において、学期末テスト <u>80点以上の児童 75%以上</u> 。							
				②発表力を育成する。	▶教師が『言語わざ』の模範を示し、活用させ、定着を図る。 ▶タブレットやモニターを使って視覚に訴える発表の機会を与える。	▶「『言語わざ』を使って説明できる」児童が <u>85%以上</u> 。(児童、教師) ▶「自分の考えを深めたり広げたりできている」児童が <u>85%以上</u> 。							
3	子どもが自ら考え学ぶ力を育成する。	★		③学ぶことが楽しい授業をつくる。	▶実生活と関連付けた自作の問題を提示し、友だちと協力して、解決したり振り返ったりできるようにする。	▶学びの楽しさに対する肯定的回答率が <u>90%以上</u> 。 *児童「考えることが楽しい」 *保護者「授業がわかりやすい」他							
				④読書習慣を定着させる。	▶図書委員会が本の紹介を行う。 ▶学期に一度、読書週間後に目標達成者を表彰する。 ▶行きたくなる学校図書館にする。 ▶松永図書館で本を借りる。	▶目標読書量を上回る児童 <u>70%以上</u> 。 《目標》1か月に 2年 500 ページ 3年 700 ページ 4年 800 ページ 5年 1000 ページ 6年 1200 ページ							

年 目	中期経営目標	重点	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
						□指標に係る 取組状況	力セ 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力セ 評価	達成 評価	総合 評価
3	社会性のある言動ができる児童を育成する。	★	⑤ 規律ある学校生活ができる力を育成する。 「あいさつ」 「掃除」 「時間厳守」	▶児童会による挨拶運動、挨拶名人表彰を行う。 ▶美化委員会による掃除名人表彰を行う。 ▶規律の意味を語る。	▶規律3要素の肯定的回答率 <u>90%以上</u> 。 *あいさつ「来校者や地域の人へ」 *掃除「黙って」「時間いっぱい」 *時間「席チャイム」「黙想」								
			⑥ 困っている人を助けるなどの「思いやり」や温かみのある「言葉遣い」ができる力を育成する。	▶児童会による東村元気大賞表彰を行う。 ▶帰りの会で「よいところ見つけ」「ほめほめシャワー」を行う。 ▶授業中の「丁寧語」「敬語」を徹底する。職員室入室時の挨拶指導。	▶「思いやりを持った行動ができる」児童 <u>90%以上</u> 。 *声掛け、人助け ▶「TPOに応じた言葉遣い」ができる児童 <u>90%以上</u> 。 *「君・さん」、敬語、返事								
3	体力を向上させる。		⑦ 「50m走」「握力」を向上させる。	▶体育の授業前に走ることを取り入れる。 ▶体育でサーキット運動を取り入れ、グーパー運動や上り棒を行う。	▶「50m走」「握力」で、広島県平均を上回る児童 <u>60%以上</u> 。								
3	地域から信頼される学校をつくる。	★	⑧ 地域連携事業計画及び小中一貫教育カリキュラムに沿って取組を進め、地域に信頼される教職員となる。	▶若草会、老盛会、福山大学と共同した教育活動を継続する。 ▶学校再編に向け、当該校との交流の質を高める。 ▶保護者、地域への学校情報の発信を継続する。	▶保護者の肯定的回答率 <u>90%以上</u> 。 *「教育内容や教育活動がわかる」 *「先生は熱意をもって教育している」 *「本校教育に満足している」								

1	地域から信頼される学校をつくる。	<p>⑨ 教員の授業づくりを行う時間を確保することで、教育の質の向上を図る。 一人一人が健康でやりがいをもって勤務できる環境づくりを進める。</p>	<p>▶ 学校衛生委員会を月に1度開き、時間外勤務の状況を把握する。 ▶ 必要に応じて分掌の見直し、行事等の取組の見直しを行う。</p>	<p>▶ 「授業づくりを行う時間が確保されている」と感じる教員の割合が80%以上 ▶ 月45時間を超える教職員が0人</p>																
---	------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。